

「岡山の美術」特別展示 「岡山の作家☆再発見V」

KANATANI TETSURO

KANATANI NIOKO

金谷哲郎・金谷朱尾子 作品選

父と娘 —2つの個性の煌めき—



金谷朱尾子 《ある流離》笠岡市立竹喬美術館 ©黒原三郎

2017.5.24 WED - 6.25 SUN

 岡山県立美術館

開館時間 / 9:00 - 17:00

夜間開館の5月26日(金)は19:00まで(入館は閉館30分前まで)
休館日 / 月曜日

観覧料 / 一般350円・大学生250円*・65歳以上の方170円*
高校生以下無料*

*学生証等、年齢の確認できる証明書をご提示ください。
20名以上の団体は2割引、キャンパスメンバーズ制度加盟校の学生は無料

主催 / 岡山県立美術館

助成 / 公益財団法人 福武教育文化振興財団

後援 / 公益財団法人岡山県郷土文化財団・公益社団法人岡山県文化連盟



金谷哲郎 《盃を交わして月に酔う》個人蔵 ©黒原三郎



金谷哲郎は1924年生まれ彫刻家で、日本美術家連盟会員。石や金属を素材として構築した独創的なモニュメントを創造、90歳を過ぎた今も精力的に活動しています。万成石の石切場近くのアトリエにおいて、山のように積まれた金属片や石を「宝の山」と称し、硬い素材を切ったり接合したり、完成作品を廃材にし、また再構成する姿は修行者のようです。彼の大作は公共空間にモニュメントとして設置されたものも多く、県内外のあちこちで見ることができます。

一方金谷哲郎の長女として生まれた朱尾子(1953-2004)は、岡山県立岡山朝日高等学校から京都市立芸術大学美術学部日本画科に進学し、日本画家として生きることを決めました。若干28歳にして第13回日展出品作《塔と人とうつろいと》で特選受賞、日展や女流画家展に出品を重ねます。岡山大学教育学部日本画教室講師も勤め、絵本の挿絵にも携わりました。的確な人物デッサンと構成力を基に、画家の内面性を強く反映した独自の人物表現を特徴とした作品を制作しましたが、2004年に51歳で世界。

父と娘は互いの造形性を尊重しつつも全く異なる芸術世界を模索し続けました。同じ屋根の下から生まれた数々の作品を通して、2人の制作活動の軌跡を紹介します。

関連事業
 金谷哲郎氏と学芸員による対談
 日時:5月24日(水)10:00~
 会場:地下1階展示室 [要観覧券]

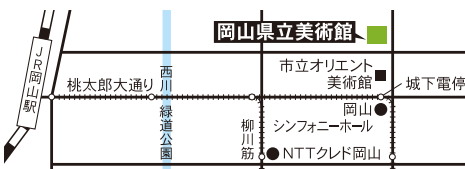
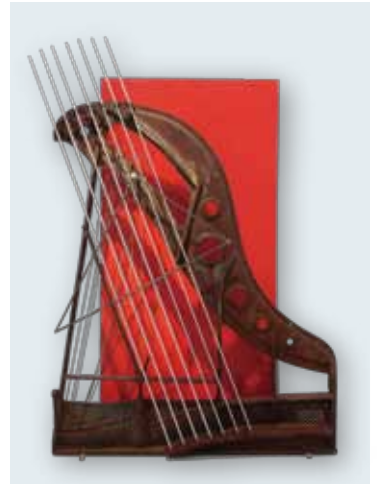
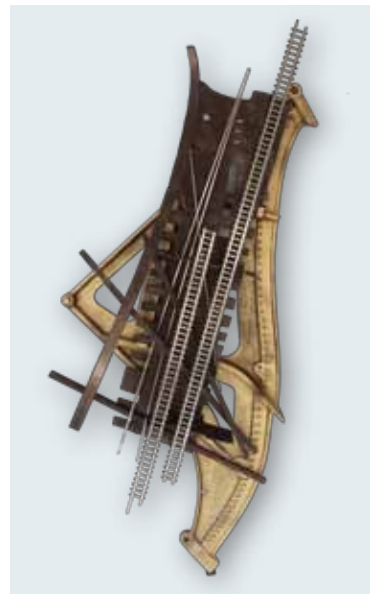
KANATANI NIOKO
 金谷朱尾子

- 上から
- 《塔と人とうつろいと》
笠岡市立竹喬美術館
- 《西の京 一はつなつー》
岡山県立岡山朝日高等学校
- 《わが裡なる火山列島》
岡山県立美術館

KANATANI TETSURO
 金谷哲郎

- 上から
- 《響》個人蔵
- 《鷹》林原美術館
- 《風》個人蔵
- 《年を経し糸のみだれのくるしさに》
個人蔵

同時開催
 日本工芸会中国支部創立60周年記念「60年のあゆみ」展
 「岡山美術② 洋画」



JR岡山駅後楽園口(東口)から
 ■徒歩 15分
 ■路面電車 東山行「城下」下車 徒歩3分
 ■宇野バス 四御神 瀬戸駅/片上方面行
 「表町入口」下車 徒歩3分
 岡山後楽園行「岡山県立美術館」下車すぐ
 ■岡電バス 藤原団地行「天神町」下車すぐ
 ■循環バスめぐりん 「表町入口」下車 徒歩3分

岡山県立美術館
 OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

〒700-0814 岡山市北区天神町8-48
 Tel:086-225-4800 Fax:086-224-0648
 E-mail:kenbi@pref.okayama.lg.jp
 http://okayama-kenbi.info/